

# 第三次 尾張旭市 都市計画マスタープラン

令和 8（2026）年度～令和 17（2035）年度

Owariasahi City Planning Master Plan





# 第三次尾張旭市都市計画マスタープラン策定に当たって

この度、本市の都市計画の総合的な指針となる「第三次尾張旭市都市計画マスタープラン」を、策定いたしました。

本計画は、令和6（2024）年3月に策定した尾張旭市第六次総合計画の実現に向けた、本市の都市基盤分野における最上位の計画となります。

本計画に基づき、少子超高齢化や人口減少、都市インフラの老朽化、自然災害の激甚化など、様々な社会課題や環境変化に対応しながら、市民の暮らしを守り、生活の質を高めるまちづくりを進めてまいります。

また、暮らしに「楽しさ」という彩りを加えることで、本市のめざすまちの未来像「幸せつむぐ笑顔あふれる尾張旭」の実現に取り組んでまいります。

さて、市内を散策していると、季節ごとに表情を変える街並みや水辺の風景、公園では子どもたちの元気な声に、心が和みます。こうした穏やかな何気ない日常こそが、日々の幸せな暮らしを支えていることに、改めて気が付きます。目の前に広がるごく普通の風景は、長年に亘る地道なまちづくりの積み重ねによって育まれた、本市のかけがえのない大切な財産です。

本計画では、まちづくりの理念を「ともにつむぐ笑顔あふれる公園都市」と決めました。

この理念には、本市の魅力である緑豊かで美しい自然環境や街並みを未来へ引き継ぎ、人と人とのつながりから生まれる幸福感によって、まち全体に笑顔が広がる「公園のような都市」をめざしたいという願いを込めています。

本計画の実現には、市民・各種団体・事業者の皆さまとともに着実に歩いていくことが、何よりも重要です。行政としましては、職員一丸となって、より良いまちづくりに邁進してまいりますので、今後とも一層のご理解とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

結びに、本計画の策定に当たり、市民ワークショップや都市計画マスタープラン策定検討会議などを通じ、ご意見やご提案をいただいた皆さまに、心より感謝申し上げます。

令和8（2026）年3月



尾張旭市長 柴田 浩

## 第1章 はじめに 1

1. 策定に当たって ..... 2
  - (1) 計画策定の趣旨 ..... 2
  - (2) 計画の位置付け ..... 2
  - (3) 対象区域 ..... 3
  - (4) 計画期間 ..... 3
2. 尾張旭市第六次総合計画の実現に向けて ..... 4

## 第2章 尾張旭市の特徴 7

1. 尾張旭市の「魅力」と「今後求められていること」 ..... 8
  - (1) 住む場 ..... 9
  - (2) 安全安心 ..... 14
  - (3) 緑・水辺 ..... 18
  - (4) 生活利便性 ..... 21
  - (5) にぎわい・活力 ..... 26
2. 前計画の検証 ..... 30
3. 市民が描く未来のまちの姿 ..... 34

## 第3章 まちづくりの構想 39

1. まちづくりの理念 ..... 40
2. まちづくりの目標 ..... 42
3. 将来の住宅及び産業用地の規模の設定 ..... 45
  - (1) 将来人口や人口密度の予測 ..... 45
  - (2) 住宅用地の規模 ..... 46
  - (3) 人口密度に関する目標 ..... 46
  - (4) 産業用地の規模 ..... 47
4. 将来都市構造 ..... 48
  - (1) 将来都市構造とは ..... 48
  - (2) 将来都市構造の設定 ..... 49
5. 土地利用の方針 ..... 51
  - (1) 土地利用区分との方針 ..... 51

## 第4章 まちづくりの方針 57

- 目標Ⅰ 住環境 ..... 60
  - 方針1 多様な暮らし方ができる住環境を整える ..... 61
  - 方針2 安全安心な住環境・住宅を整える ..... 64
  - 方針3 快適で衛生的な暮らしを支える都市インフラ施設を整える ..... 66

## 目次

目標 II 自然環境 .....	67
方針 1 今ある緑や水辺を大切に守り、未来に引き継ぐ .....	68
方針 2 まちなかの緑を増やし、質を高める .....	71
方針 3 全国植樹祭の理念を継承する .....	73
方針 4 環境負荷の少ない持続可能な都市空間をつくる .....	74
目標 III 移動 .....	76
方針 1 歩いて出かけたくなる人中心の移動環境を整える .....	77
方針 2 安全で円滑な交通の基盤を整える .....	79
目標 IV 楽しさ .....	81
方針 1 にぎわいや交流を生み出す拠点の魅力を高める .....	82
方針 2 まちなかににぎわいが生まれる居場所（プレイス）をつくる .....	84
方針 3 まちの魅力や人のつながりを育む働く場を元気にする .....	87
目標 V まち育て .....	89
方針 1 まちづくりのアイデアや担い手を発掘する .....	90
方針 2 主体的なまちづくり活動を応援する .....	92
方針 3 民間事業者等とも連携する .....	94

## 第 5 章 地域別の取組

95

1. 地域区分の設定 .....	96
2. 東部地域 .....	97
(1) 東部地域の特徴とまちづくりの方向性 .....	97
(2) 東部地域のまちづくりマップ .....	98
(3) 東部地域の取組一覧表 .....	100
3. 中部地域 .....	103
(1) 中部地域の特徴とまちづくりの方向性 .....	103
(2) 中部地域のまちづくりマップ .....	104
(3) 中部地域の取組一覧表 .....	106
4. 西部地域 .....	109
(1) 西部地域の特徴とまちづくりの方向性 .....	109
(2) 西部地域のまちづくりマップ .....	110
(3) 西部地域の取組一覧表 .....	112
5. 南部地域 .....	115
(1) 南部地域の特徴とまちづくりの方向性 .....	115
(2) 南部地域のまちづくりマップ .....	116
(3) 南部地域の取組一覧表 .....	118

## 第 6 章 計画の評価と進行管理

121

1. 目標値の設定 .....	122
2. 進行管理・見直し .....	123



## 第1章

# はじめに

## (1) 計画策定の趣旨

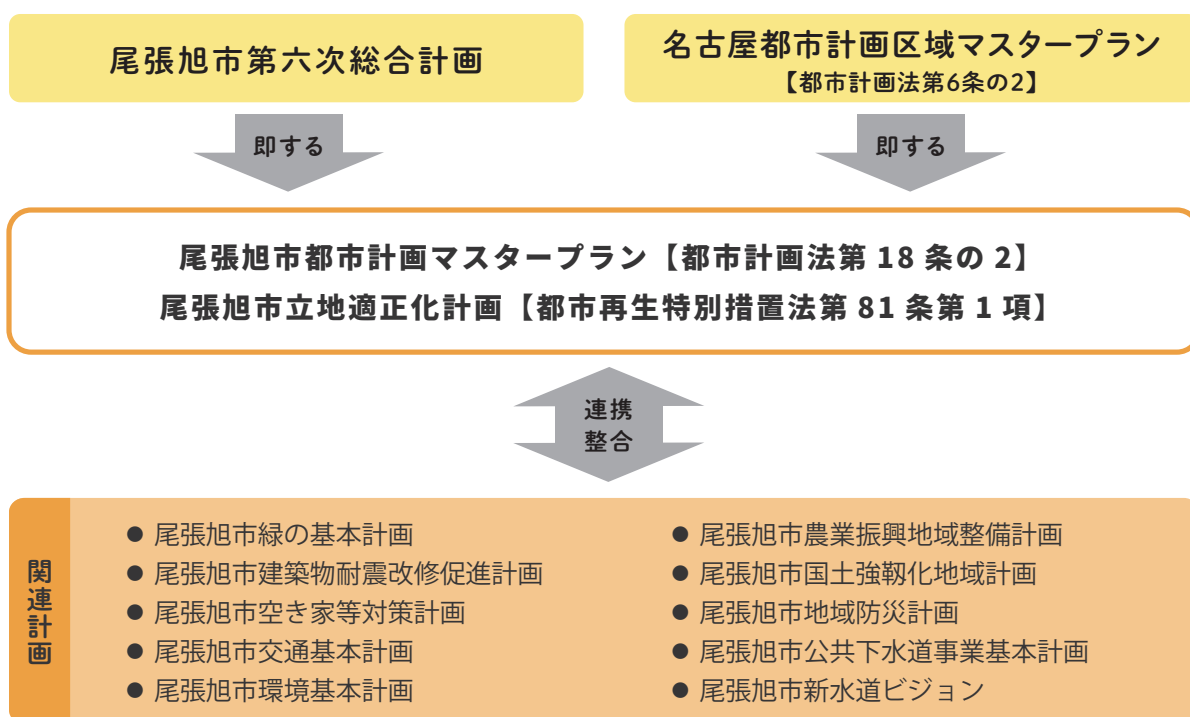
都市計画マスタープランは、都市計画法第18条の2に基づく「市町村の都市計画に関する基本的な方針」として、長期的な視点に基づき、土地利用や都市施設の整備方針などを示す、都市計画の総合的な指針となる計画です。

尾張旭市（以下「本市」という。）では、第二次都市計画マスタープラン（平成23（2011）年度から令和7（2025）年度）を策定以降、様々な都市基盤の整備に取り組んできましたが、近年は人口減少や少子超高齢社会の進行、大規模自然災害の発生、市民の居住ニーズの多様化など、社会情勢が大きく変化しています。

また、令和6（2024）年度からは本市の最上位計画である尾張旭市第六次総合計画がスタートしたことから、上位計画の内容や社会情勢の変化を的確に捉え、まち全体の暮らしの質を高め、持続可能なまちづくりを推進するため、第三次都市計画マスタープラン（以下「本計画」という。）を策定します。

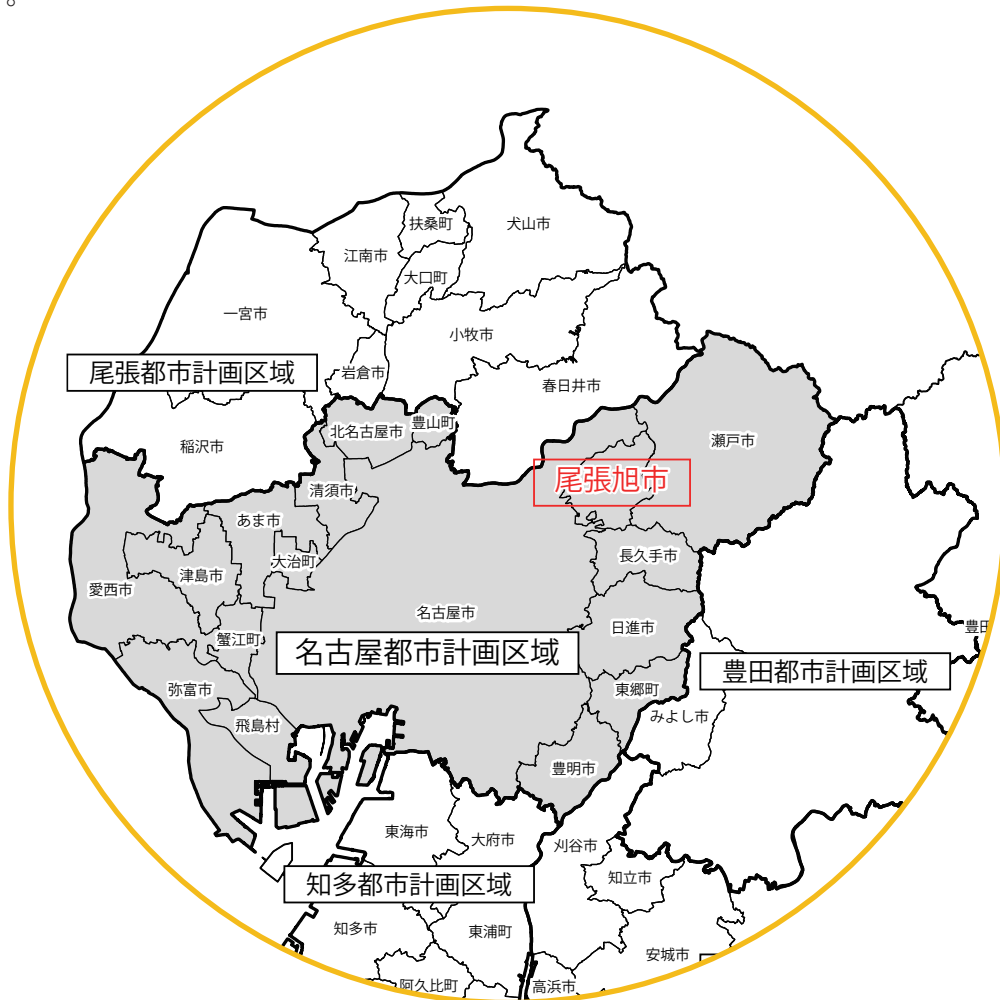
## (2) 計画の位置付け

本計画は、尾張旭市第六次総合計画及び愛知県が策定した名古屋都市計画区域マスタープランに即すとともに、本市が定める関連計画と整合を図り策定します。



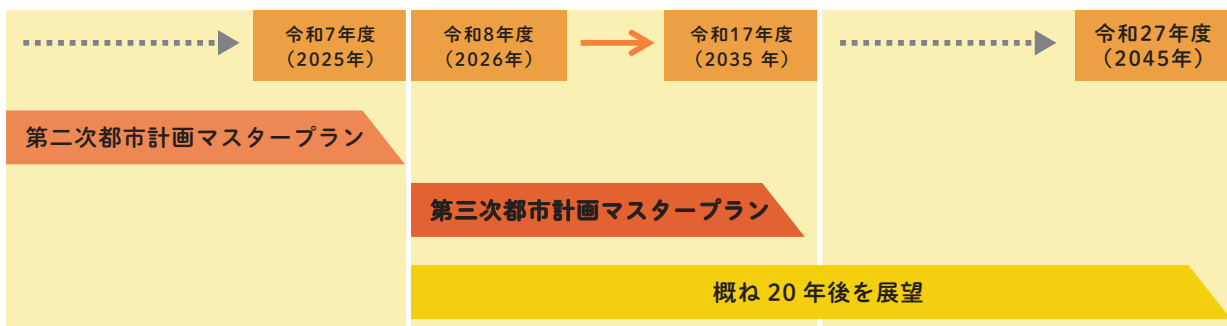
### (3) 対象区域

本市は、全域が名古屋都市計画区域に含まれています。このため、本計画の対象区域は市全域とします。



### (4) 計画期間

本計画は、概ね 20 年後の都市の姿を展望したうえで、10 年後の目標を示すため、計画期間を令和 8（2026）年度から令和 17（2035）年度までの 10 年間とします。



尾張旭市第六次総合計画は、本市が総合的かつ計画的にまちづくりを進めるための長期的な指針であり、各分野における個別計画の基本となる、最上位計画です。

本計画は、以下の尾張旭市第六次総合計画のめざすまちの未来像の実現のため、まちづくりの基本方針や8つある基本目標のうち、都市基盤分野である基本目標4の達成につながる計画とします。

### めざすまちの未来像



### 計画期間

令和6(2024)年度から  
令和15(2033)年度まで

### めざすまちの未来像に込める想い

「幸せつむぐ」は、本市に連綿と受け継がれてきた歴史や文化、快適でやすらぎのある都市環境の中で、まちづくりの主役である市民一人ひとりが安心して、いきいきと暮らし、「健康」や「成長」、「夢の実現」など、人それぞれの「幸せ」を、多様な主体が手を取り合って実現し、それらを積み重ね、世代を超えてつないでいく様子を表しています。

「笑顔あふれる」は、家庭や地域、公園、保育園、幼稚園、学校、商店、事業所など市内のあらゆる場所で、全ての人がお互いを思いやり、助け合いながら、安全で快適に楽しく過ごし、充実した暮らしを送ることにより、市内のあちこちで笑顔が生まれ、それがまち中に広がっていく様子を表しています。

「幸せつむぐ」ことにより「笑顔あふれる」を実現します。また、「笑顔あふれる」ことによって、さらに「幸せつむぐ」ことにつながっていきます。「幸せ」と「笑顔」が一つでも多く市内に生まれるように、市民、各種団体、事業者などの皆さんと行政が一緒になってまちづくりを進めていきます。



## まちづくりの基本方針

少子超高齢化や人口減少などの環境変化に的確に対応し、めざすまちの未来像を実現するため、4つの基本方針が定められています。

### 01 「暮らしやすさ」に「楽しさ」を加えます



### 02 「自分らしく」を応援します



### 03 「子育てしやすいまち」の魅力を高めます



### 04 「人とのつながり」を大切にします



## 基本目標

めざすまちの未来像の実現のため、8つの分野ごとに基本目標が定められています。

## 都市基盤分野の基本目標

### 基本目標4 質の高い暮らしを支えるまち

都市基盤は、市民の質の高い暮らしを支える基本となるものです。快適で心やすらぐ住環境を一層向上させるとともに、子育てしやすい環境づくりにより、若い世代などが定住したくなるような魅力と活気があふれるまちづくりを進め、市民の「暮らしの質」を高めていく必要があります。

良好な市街地を形成し、都市のコンパクト化を図るとともに、活力ある中心拠点を再構築します。

公園などによるうるおいのある空間を創出するとともに、生活利便性が高く衛生的な住環境を備えた、やすらぎのある都市空間を構築します。また、日常的な移動を安全・円滑に行うため、公共交通サービスの充実や道路環境の整備を図ります。

これまで計画的に構築してきた豊かな住環境を維持しながら、楽しさを感じられる魅力を加えることで、「質の高い暮らしを支えるまち」をめざします。

# 1章

## ▼ はじめに

## 第2章

# 尾張旭市の特徴

本市は、少子超高齢化や人口減少などの環境変化に的確に対応し、尾張旭市第六次総合計画のめざすまちの未来像「幸せつむぐ 笑顔あふれる 尾張旭」を実現していく必要があります。

まちづくりを進めるに当たっては、豊かな自然環境をはじめ、多様な地域資源や名古屋市への優れた交通アクセスといった本市の魅力を最大限に活かすことが重要となります。

また、市民アンケートでは「移動しやすい」「子どもを安心して育てられる」「静かで落ち着いた暮らし」「災害の心配が少ない」「歩いて暮らしやすい」といった項目への期待が高いことが明らかになりました。

こうした本市の現状や社会潮流、市民アンケートの結果を踏まえ、改めて認識された「本市の魅力」と「今後求められていること」を、本市の特徴として整理します。

なお、本市の特徴の全体像を多角的かつ包括的に把握するため、市民の暮らしに関する要素を「住む場」「安全安心」「緑・水辺」「生活利便性」「にぎわい・活力」の5つの視点ごとに整理します。

### (1) 住む場

市民に最も身近な住環境からの視点

### (2) 安全安心

市民の命と暮らしを守る防災減災の視点

### (3) 緑・水辺

心身の健康や暮らしの豊かさにつながる視点

### (4) 生活利便性

日々の暮らしに必要なサービスの視点

### (5) にぎわい・活力

人の交流や産業としての視点

# (1) 住む場

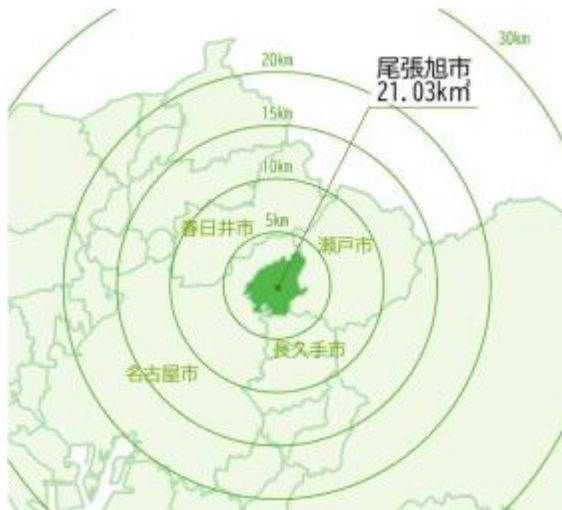
## 尾張旭市の魅力 やすらぎのある暮らしのまち

### コンパクトなまち

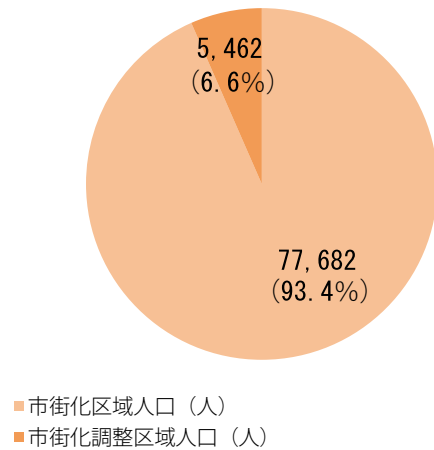
本市は、東部に瀬戸市、西部及び北部に名古屋市、南部に長久手市が隣接しており、面積は21.03 km<sup>2</sup>（東西に5.7 km、南北に5.6 km）のコンパクトな市域です。

また、総人口に占める市街化区域内人口の割合は93.4%であり、限られた市街化区域内に人口が集中している特徴を持ち、市街化区域内の人口密度は、愛知県内の他自治体と比べても高いことから、限られた小さな市域に人口が集中するコンパクトな市街地が形成されています。

#### ● 尾張旭市の位置

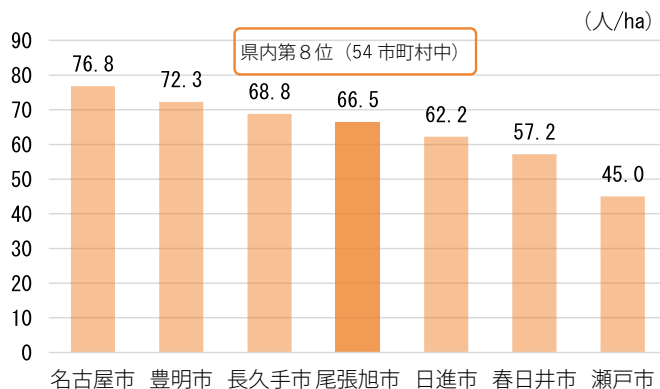


#### ● 市街化区域と市街化調整区域の人口内訳 (令和2(2020)年度)



資料：都市計画基礎調査

#### ● 市街化区域内人口密度の周辺都市比較



※一部抜粋

資料：令和4年都市計画現況調査（令和6(2024)年6月修正、国土交通省）

## 良好な住環境が整ったまち

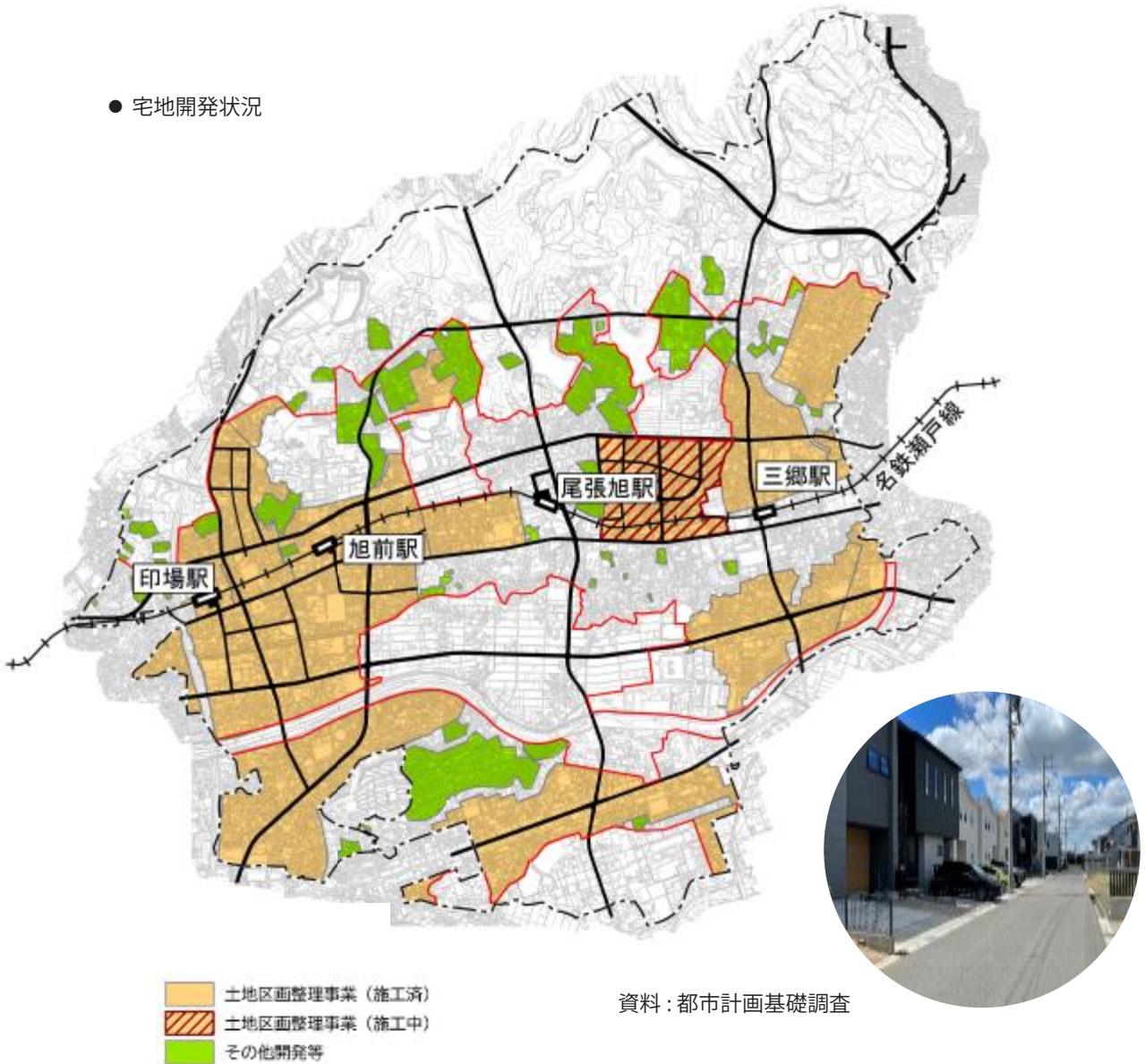
本市では、土地区画整理事業を中心にまちづくりと都市基盤整備が進められてきました。

土地区画整理事業が完了した地区や現在施行中の尾張旭北原山土地区画整理事業、民間開発事業の面積を合わせると、市街化区域面積 1,178ha のうち 70.6%が計画的に整備された住宅地となっています。

## 2章

### 尾張旭市の特徴

● 宅地開発状況



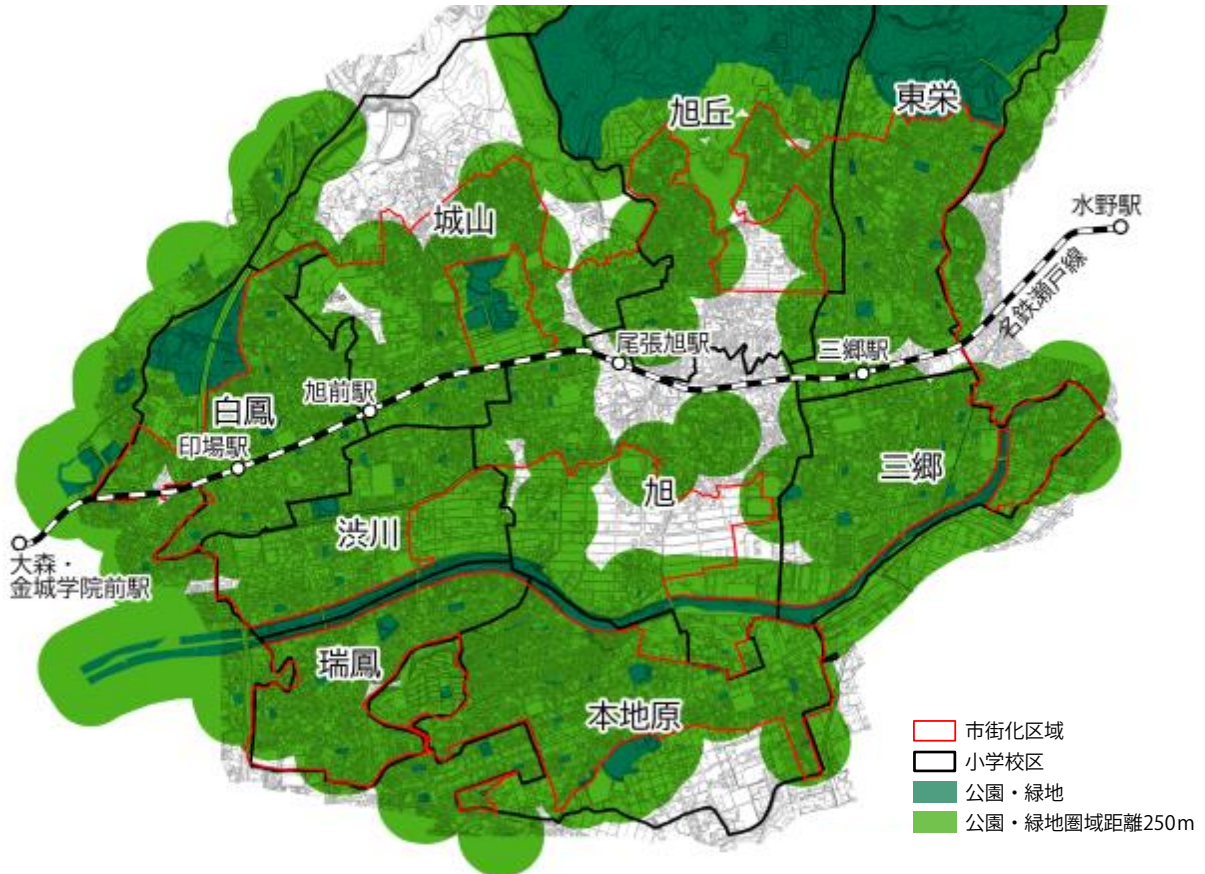
## 暮らしの身近に公園が充実しているまち

市内には、森林公園や小幡緑地といった大規模な公園のほか、城山公園をはじめとする都市公園やちびっ子広場が124箇所整備されています。

子どもや高齢者が徒歩で公園を利用できる距離とされる250m（街区公園の誘致距離）の範囲内に住む市民の割合は93.2%であり、暮らしの身近に公園が整備されていることが分かります。

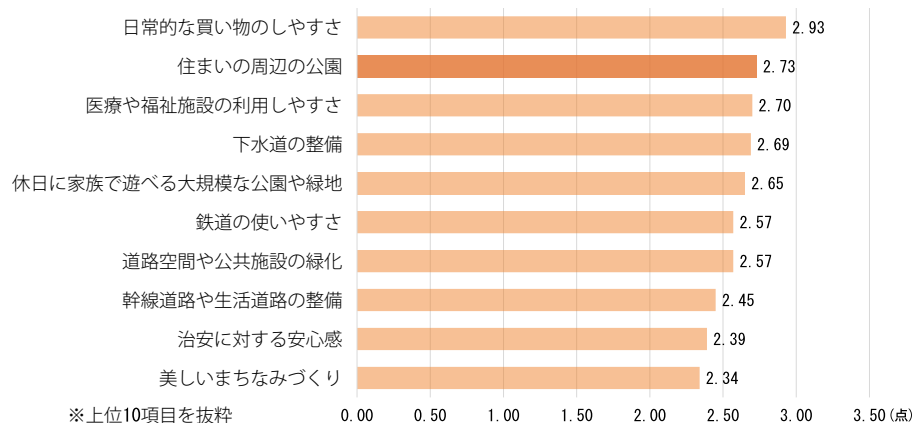
また、これまでのまちづくりの評価においても「住まいの周辺の公園」の満足度が高くなっています。

### ● 公園緑地の分布状況



資料：平成30年度都市構造分析調査業務から作成

### ● これまでのまちづくりの評価（現在の満足度）



資料：都市計画マスタープランの策定に向けた市民アンケート

## 今後求められていること

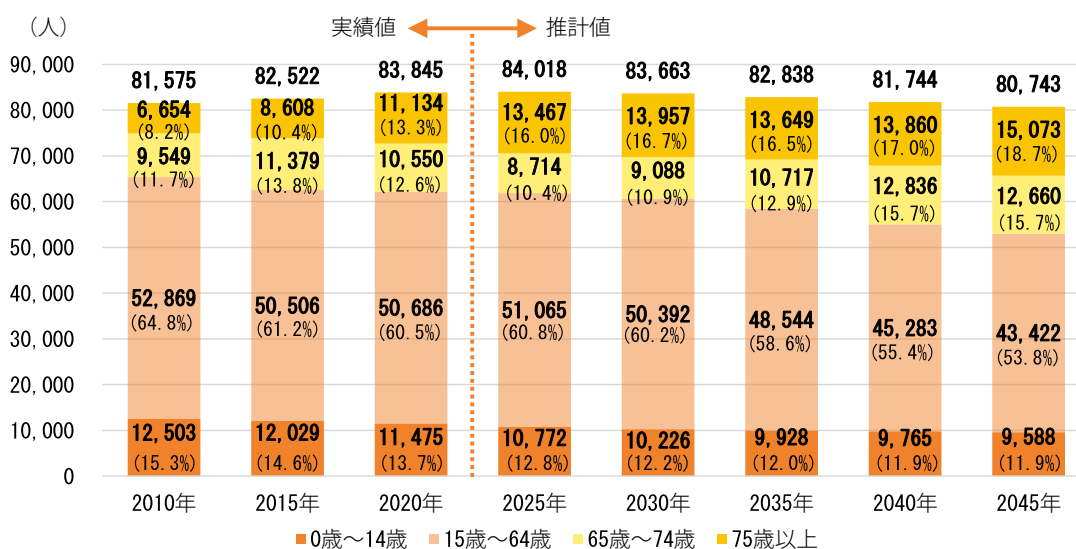
「やすらぎのある暮らしのまち」としての魅力をより高めるために、今後求められている取組は次のとおりです。

### 人口減少、少子超高齢化への対応

本市の人口は、令和2（2020）年から令和7（2025）年の間の約84,000人がピークとなり、その後緩やかに減少することが見込まれます。また、年齢4区分による人口見通しでは、少子化及び高齢化は緩やかに進行することが見込まれます。

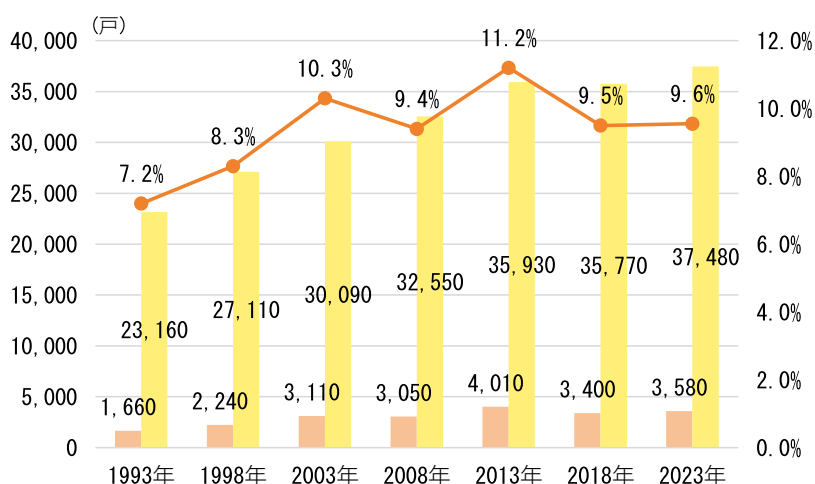
こうした状況を踏まえ、効率的かつ効果的な都市経営を図るためには、現在のコンパクトな市街地を維持しつつ、空き家や空き地の解消、有効活用などの取組が必要になります。

#### ● 将来人口推計（年齢4区分別）



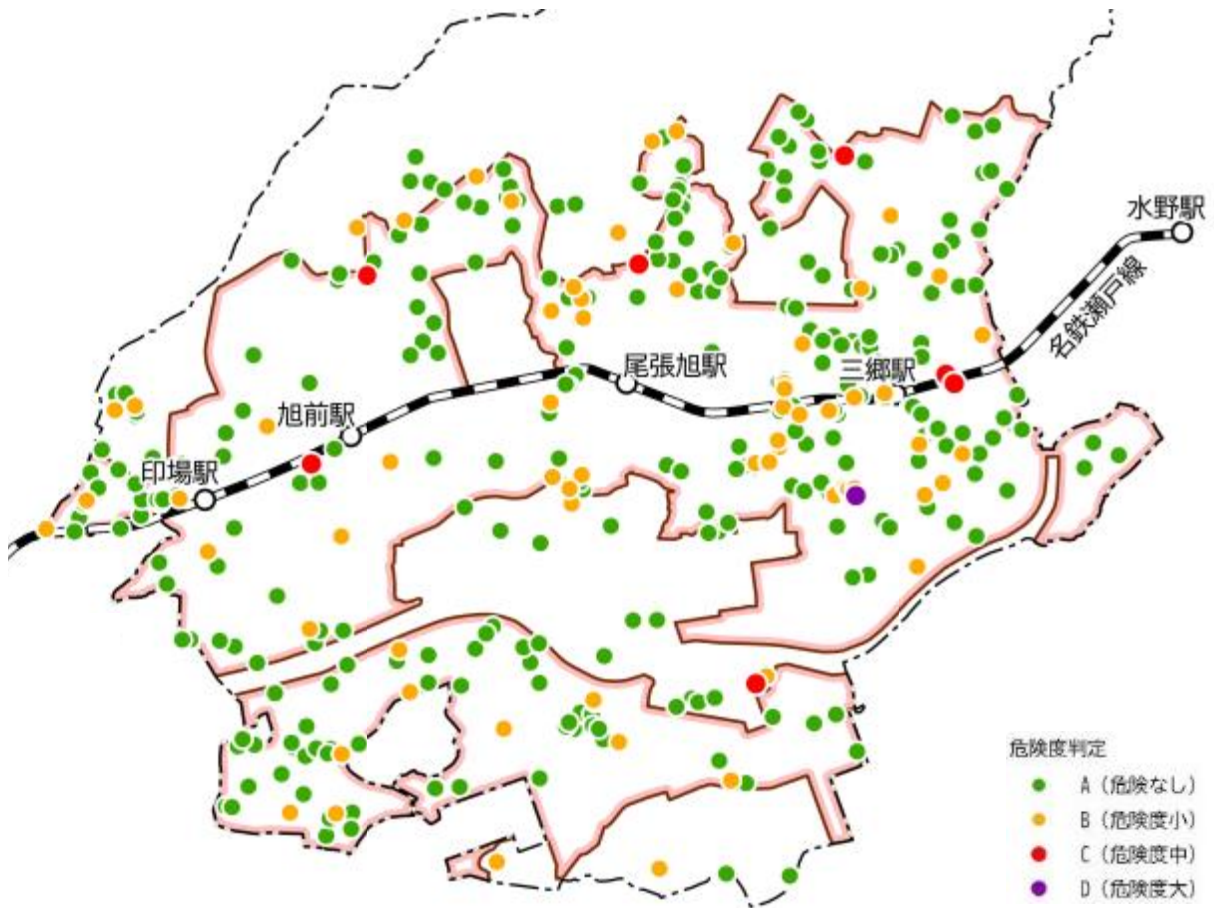
資料：尾張旭市第六次総合計画から作成

#### ● 空き家の推移



資料：全国住宅・土地統計調査（尾張旭市）

## ● 空き家の分布状況

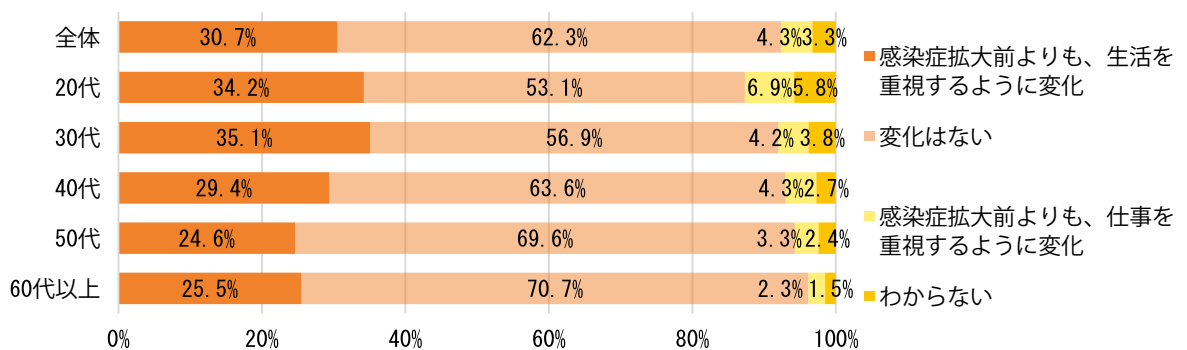


資料：尾張旭市空き家管理台帳データ  
(令和5(2023)年10月時点)

## 多様なライフスタイルへの対応

新型コロナウイルス感染症の拡大を契機に、働き方や暮らし方が多様化しています。様々な世代や、一人ひとりのライフスタイルに対応した住環境の整備が求められています。

## ● 年代別ワークライフバランスの意識



資料：「第6回新型コロナウイルス感染症の影響下における生活意識・行動意識の変化に関する調査」(令和5(2023)年4月、内閣府)から作成

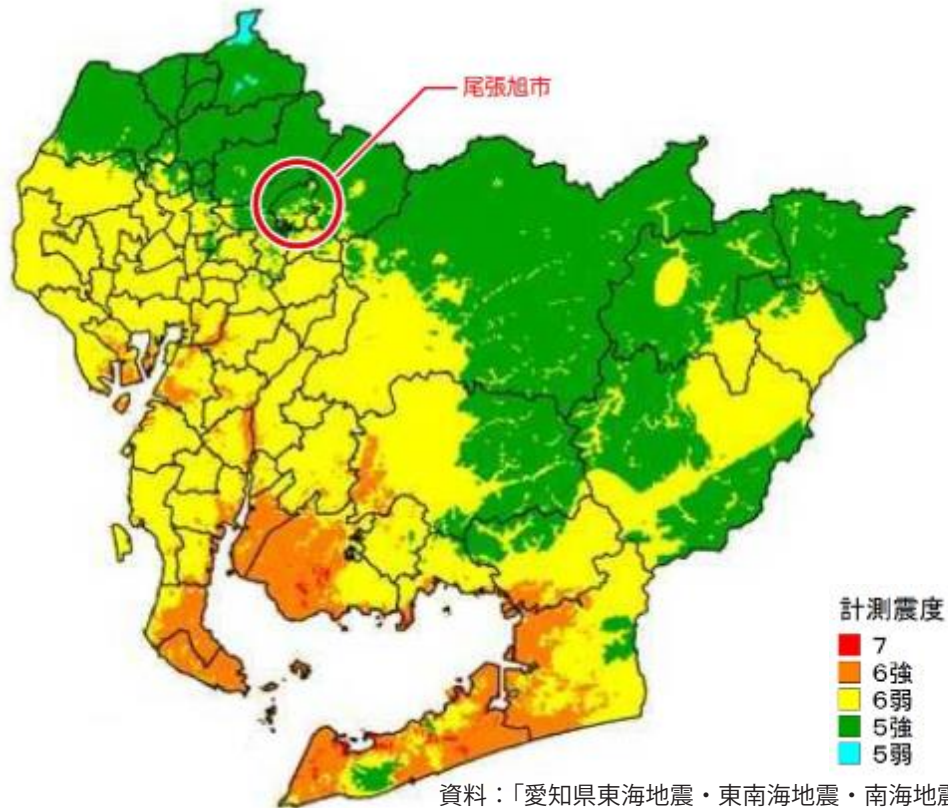
## (2) 安全安心

### 尾張旭市の魅力 災害リスクが低く、安全安心なまち

#### 地震災害リスクが低いまち

南海トラフ巨大地震の想定震度は、他の自治体に比べて低く、津波の想定もないことから、地震災害のリスクが相対的に低くなっています。

- 震度分布（「過去地震最大モデル」による想定）



資料：「愛知県東海地震・東南海地震・南海地震等被害予測調査結果」（平成26（2014）年5月、愛知県防災会議地震部会）

- 津波の浸水想定域（「過去地震最大モデル」による想定）

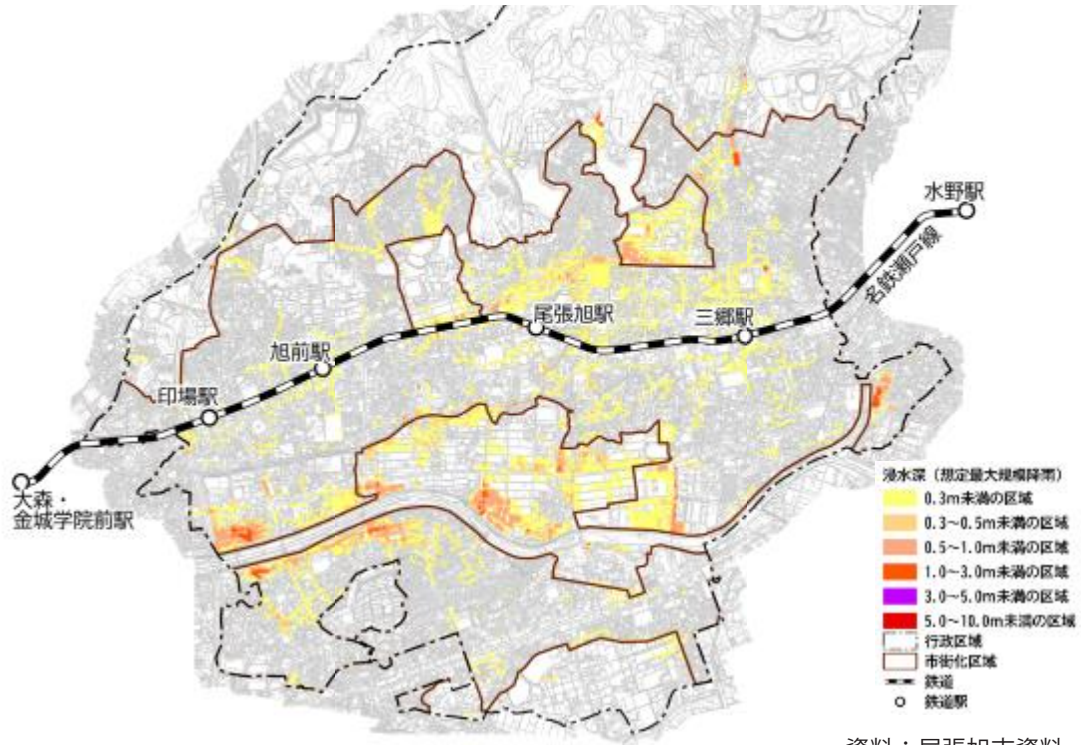


資料：「愛知県東海地震・東南海地震・南海地震等被害予測調査結果」（平成26（2014）年5月、愛知県防災会議地震部会）

## 水害リスクが低いまち

適切に整備された雨水排水施設と保水機能のある矢田川周辺の農地によって、市街化区域内は浸水や冠水の影響を受ける可能性が低くなっています。

- 雨水出水浸水想定区域図（浸水深）



資料：尾張旭市資料

- 農地の分布状況



資料：都市計画基礎調査

## 今後求められていること

「災害リスクが低く、安全安心なまち」としての魅力をより高めるために、今後求められている取組は次のとおりです。

### 頻発する豪雨への対応

全国的に大雨の年間発生回数が増加しており、線状降水帯の発生や局地的な豪雨による浸水や冠水のリスクが高まっています。これらのリスクを低減するためには、排水施設の整備や河川を中心とした治水対策の強化、浸水対策の計画的な実施など、総合的な対策が求められています。

#### ● 大雨の年間発生回数

(昭和 51 (1976) 年～令和 5 (2023) 年)

【全国アメダス】1時間降水量50mm以上の年間発生回数



資料：気象庁資料



増水時の天神川

### 民間建築物の耐震性強化

地震発生時における被害を最小限に抑え、市民の生命と財産を守るため、民間建築物の耐震性の強化が求められています。

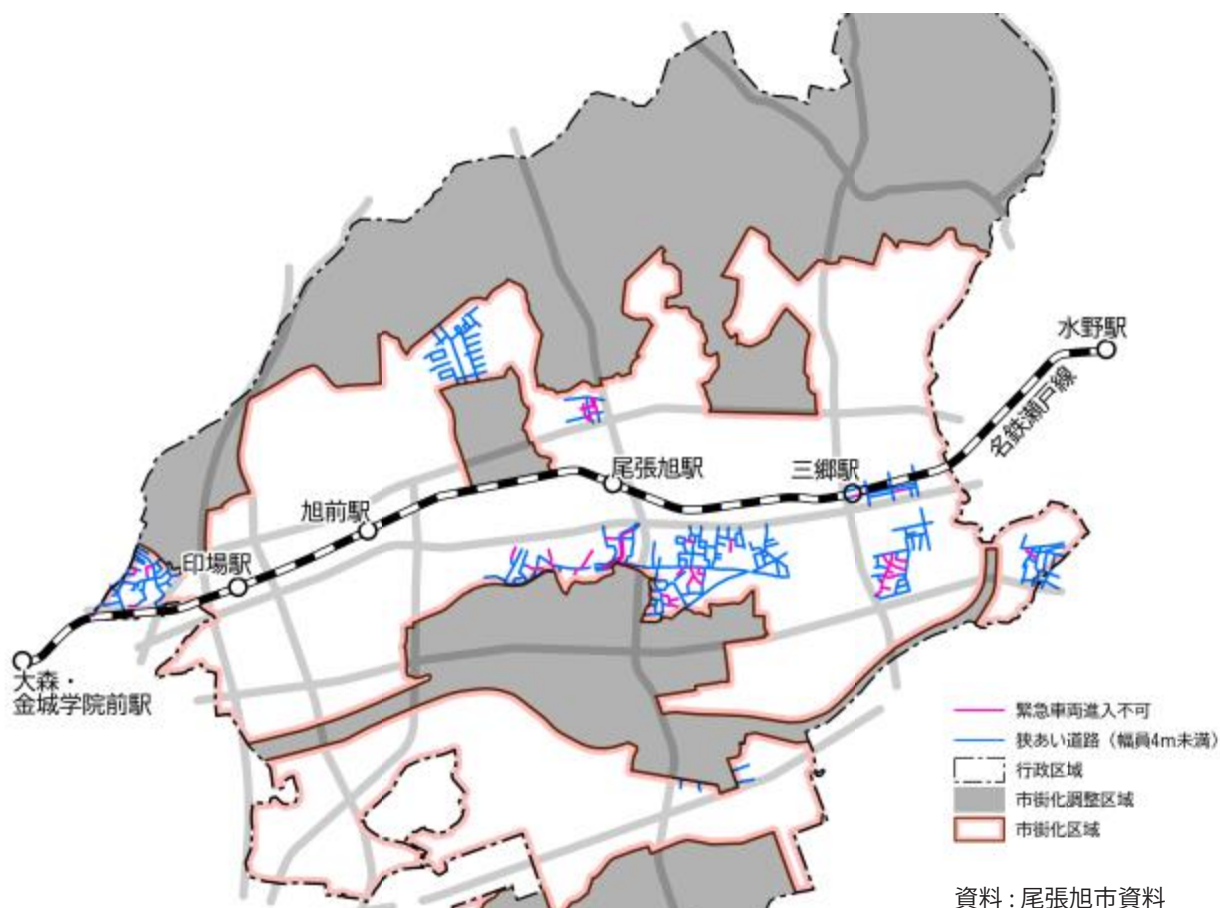


資料：国土交通省資料 石川県「創造的復興プラン」

## 消防や救援のための活動空間の確保

災害発生時に、消防や救援活動を迅速かつ効果的に行うため、活動空間の確保や、緊急車両の円滑な通行を確保する道路環境の整備など、災害に備えたインフラの強化が求められています。

- 市街化区域における狭あい道路と緊急車両侵入不可の道路



狭あい道路と緊急車両

### (3) 緑・水辺

#### 尾張旭市の魅力 緑と水に彩られたまち

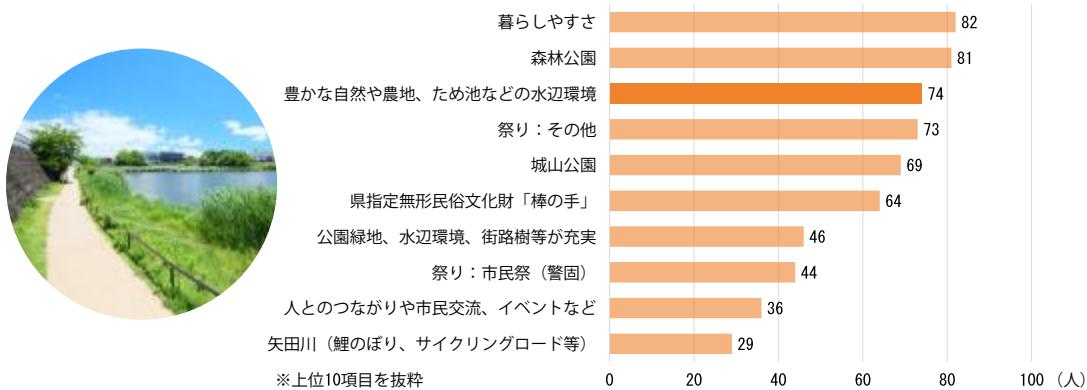
##### 緑豊かなまち

北部丘陵地の森林や、矢田川周辺に広がるまとまった農地など、暮らしの身近に緑豊かな自然があり、市民は愛着や誇りを感じています。

- 公園・緑地・水辺空間の配置状況



- 住まいの地域で「魅力」や「愛着」、「誇り」を感じること・もの、「今後守っていききたい伝統」



資料：都市計画マスタープランの策定に向けた市民アンケート

## 水辺に親しめるまち

維摩池などのため池や矢田川をはじめとする河川は、四季折々の風景とともに水に親しむことができ、散策や憩い、自然観察の場として活用されています。



維摩池

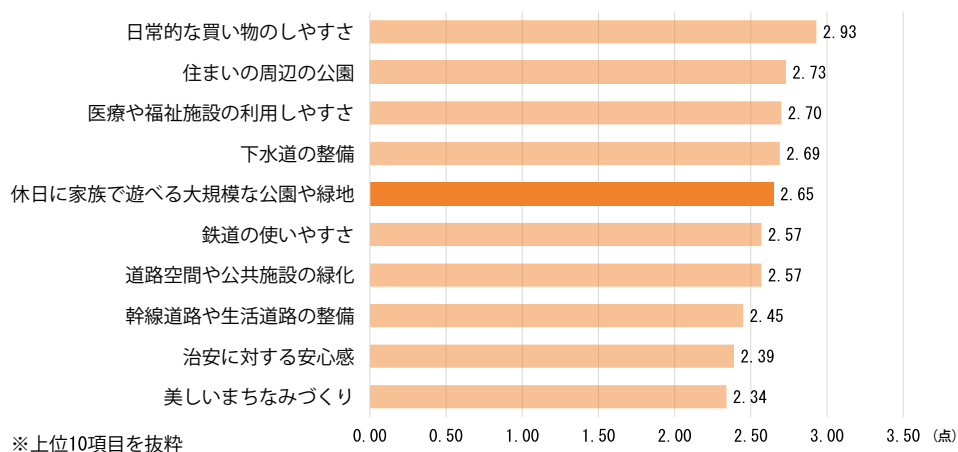
## 魅力的な公園があるまち

森林公園や小幡緑地、城山公園などの魅力的な公園は地域のシンボルとして親しまれており、多くの家族連れが訪れています。

また、これまでのまちづくり評価においては「休日に家族で遊べる大規模な公園や緑地」の満足度が高くなっています。



### ● これまでのまちづくりの評価（現在の満足度）



資料：都市計画マスタープランの策定に向けた市民アンケート

## 今後求められていること

「緑と水に彩られたまち」としての魅力をより高めるために、今後求められている取組は次のとおりです。

### 緑と水辺の保全

宅地開発や生産緑地の減少により、市内の緑は減少傾向にあります。緑や水辺は、本市の魅力であるとともに、多様な生物の生息地として生態系のバランスを保つ上でも重要な役割を果たすことから、適切な保全が求められています。



アイナシ（尾張旭市指定文化財第11号）

### 緑と水辺の多様な機能の活用

災害リスクや環境負荷の低減、うるおいのある生活環境の創出など、都市の安全性と魅力を高めるため、緑や水辺が持つ多様な機能を活用する必要があります。

#### ● 緑や水辺が持つ機能の活用例



資料：「グリーンインフラ実践ガイド」（令和5（2023）年10月、国土交通省）

### 全国植樹祭の理念継承

第70回全国植樹祭の理念「木材の利用を山村（やま）と都市（まち）をつなぐ架け橋とし、健全で活力のある森林（もり）づくりと都市（まち）づくりを進めていく」を、次の世代へと引き継ぐ必要があります。



第70回全国植樹祭

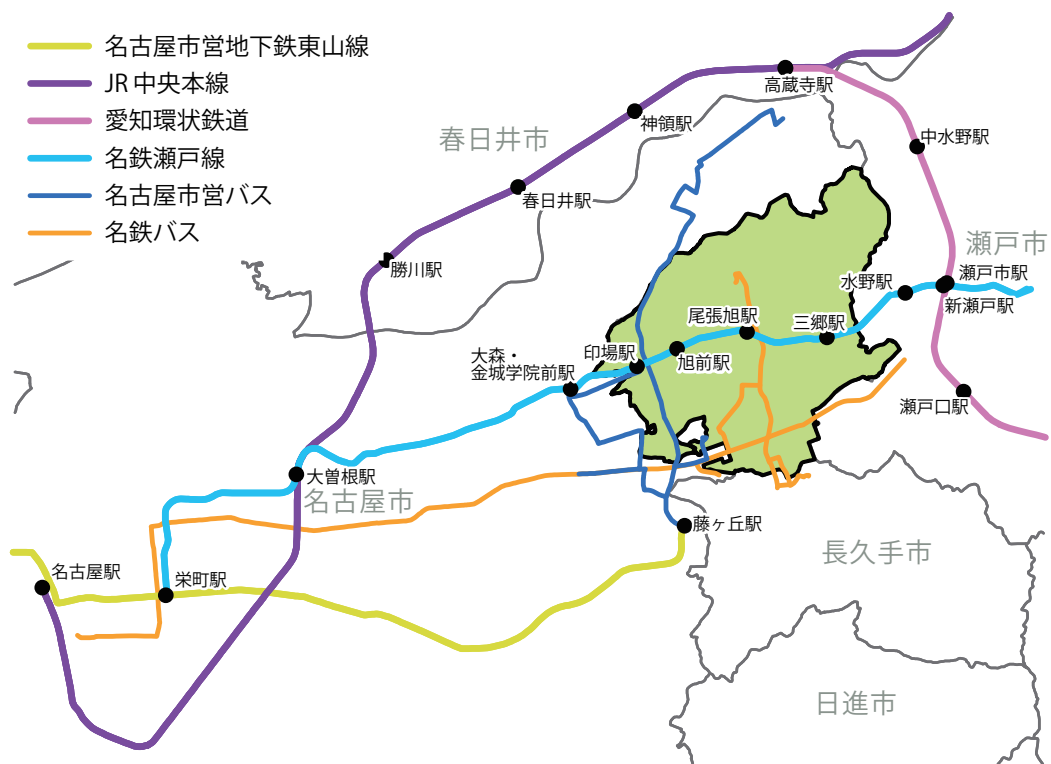
## (4) 生活利便性

### 尾張旭市の魅力 便利が揃う、暮らしやすいまち

#### 名古屋都心部にアクセスしやすいまち

名古屋市栄地区に直結する名鉄瀬戸線をはじめ、名古屋市営バスや名鉄バスなどの路線も利用ができ、名古屋都心部へのアクセスが便利な住宅地が形成されています。

#### ● 都市交通の状況

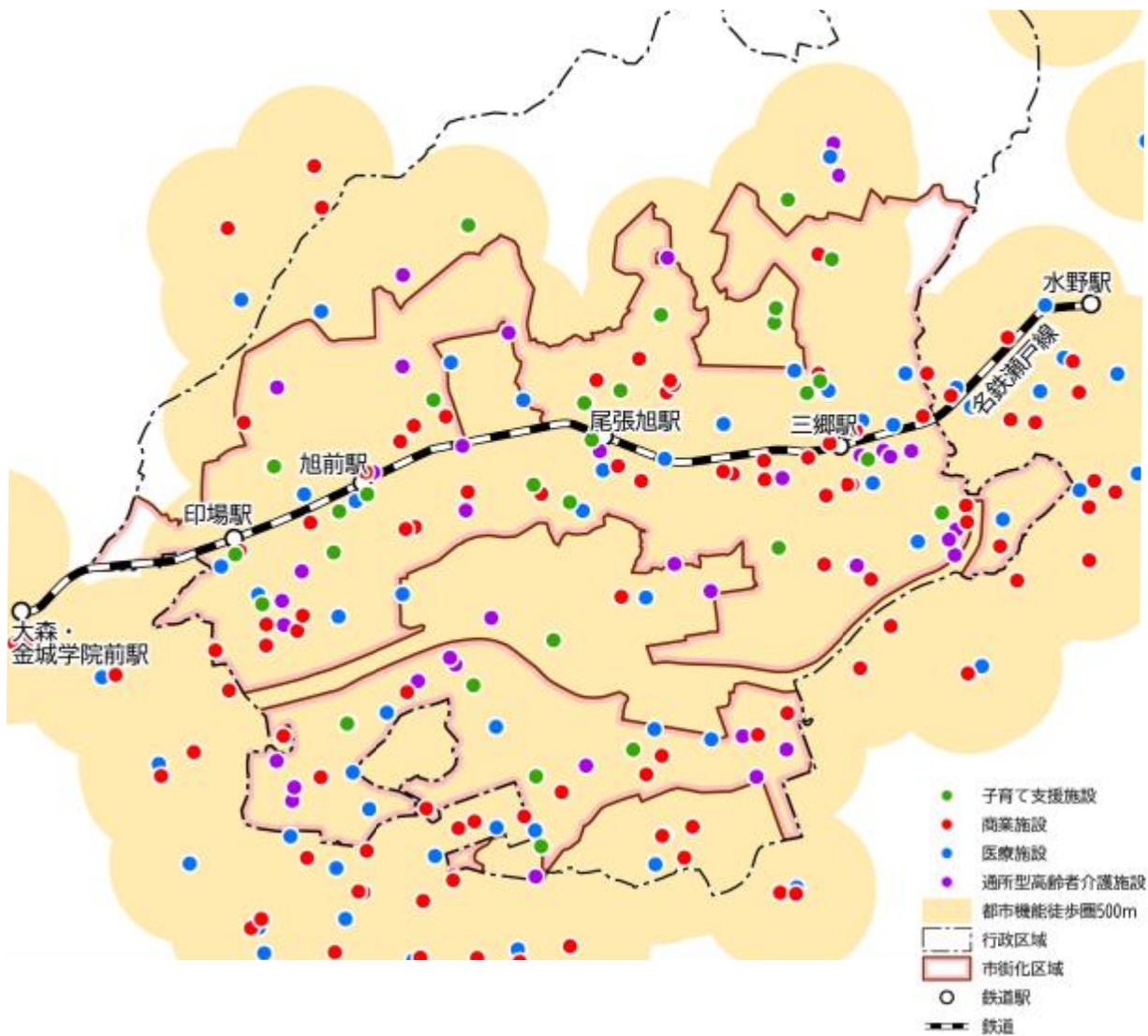


資料：国土数値情報

## 徒歩圏内に生活利便施設が揃っているまち

子育て支援施設、商業施設、医療施設などが市内各所に立地しており、日常生活に必要なサービスを徒歩圏内で利用できる住環境が整っています。

- 生活利便性の高い地域

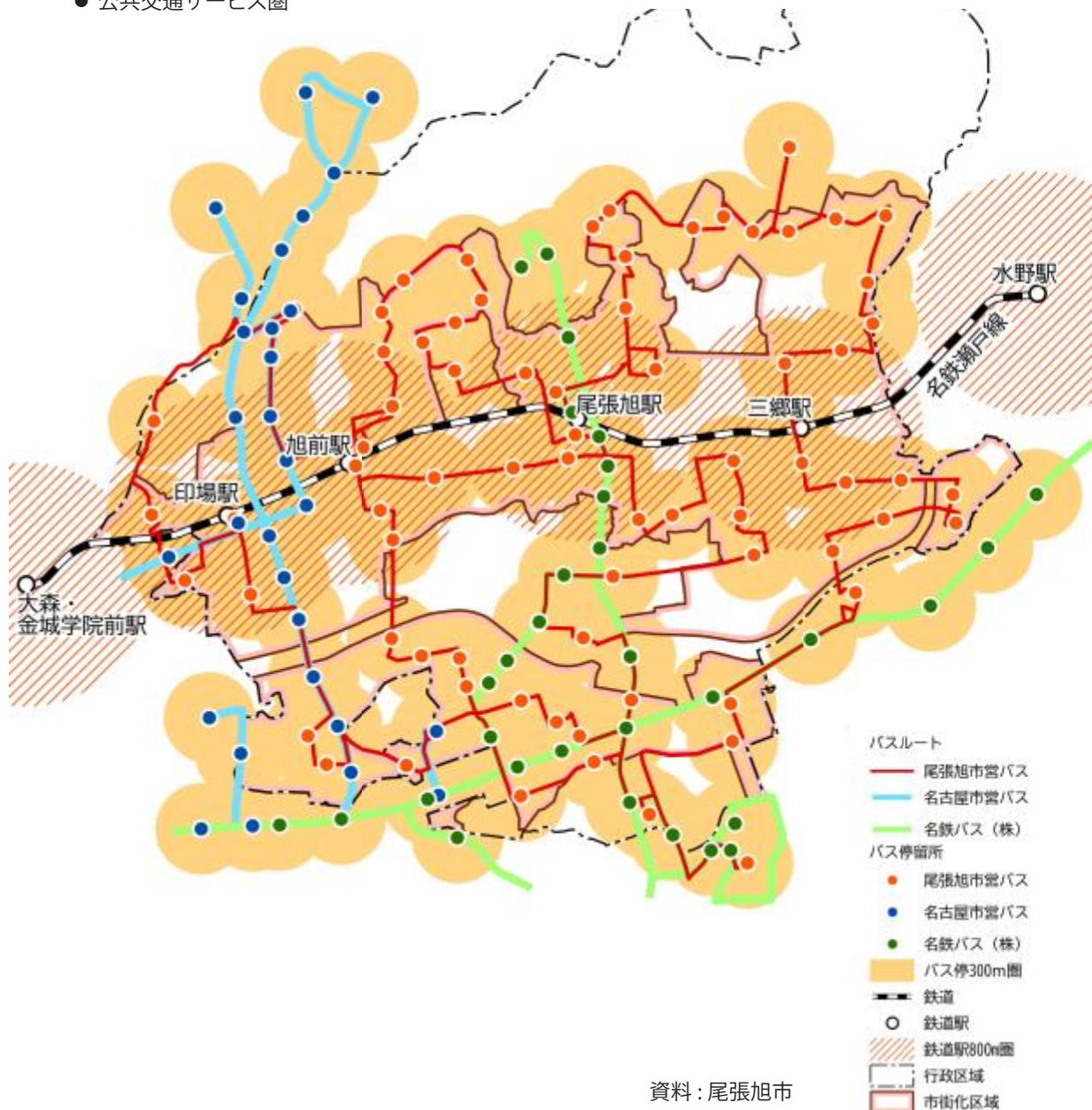


資料：【商業施設】 「全国大規模小売店総覧 2024」(東洋経済新報社), Google Map  
 【医療施設】 「国土数値情報」(令和 2(2020)年時点), 「愛知県病院・診療所名簿」(県所管分令和 4(2022)年 10 月) ※名古屋市域診療所は令和 2(2020)年時点  
 【福祉施設】 「高齢者福祉施設」(尾張旭市オープンデータ)「介護サービス情報公表システム」(厚生労働省)  
 【子育て支援施設】 「子育て支援施設」(尾張旭市オープンデータ), Google Map

## 公共交通網が行き届いたまち

名鉄瀬戸線を中心に路線バスや市営バスなどの公共交通網が充実しており、本市の人口の97%をカバーしています。

### ● 公共交通サービス圏



## 今後求められていること

「便利が揃う、暮らしやすいまち」としての魅力をより高めるために、今後求められている取組は次のとおりです。

### 生活道路の安全性向上

生活道路は市民の日常生活を支える重要な基盤です。こどもから高齢者まで誰もが安全に移動できる環境を確保するため、バリアフリー化や交通安全施設の設置など道路環境の改善による安全性の向上が求められています。

- 安全性や快適性が確保された生活道路

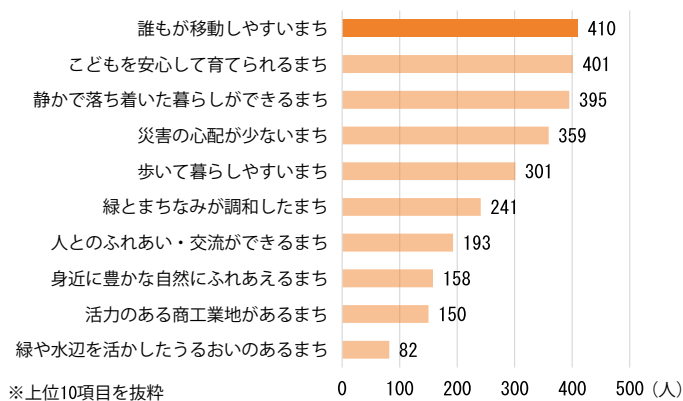


資料：「2024年、道路の景色が変わる」  
(令和2(2020)年6月、国土交通省)

### 公共交通サービスの充実

子育て世代、高齢者、障がい者など、誰もが移動しやすい環境とするため、市民の暮らしを支える公共交通サービスの充実が求められています。

- 概ね10～20年後に期待するまちの姿（複数回答）

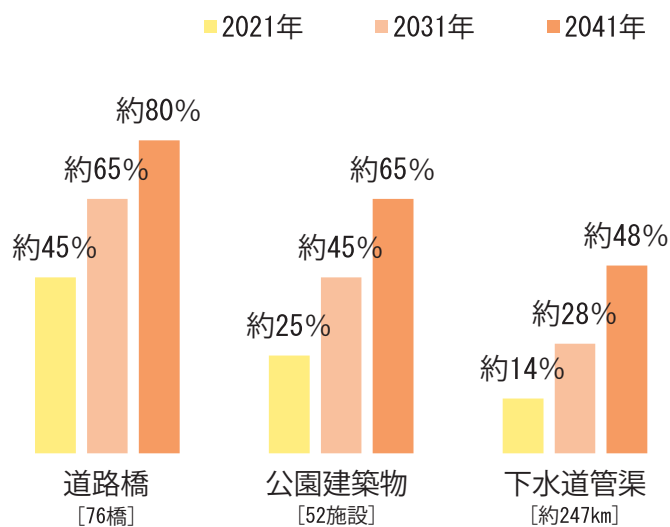


資料：都市計画マスタープランの策定に向けたアンケート

## 都市施設の維持・更新

質の高い住環境を確保するためには、老朽化した道路や公園、下水道などの都市施設の適切な維持管理や更新を行う必要があります。

### ● 今後更新時期を迎える都市施設の割合（推計値）



※推計値は、尾張旭市公共施設等総合管理計画（令和4（2022）年3月改訂）の図表を基に、令和3（2021）年を基準年として各都市施設の耐用年数を踏まえ推計した値。

資料：尾張旭市公共施設等総合管理計画等を基に推計

## (5) にぎわい・活力

### 尾張旭市の魅力 にぎわい・活力を高めるポテンシャルがあるまち

#### 森林公園のあるまち

森林公園は、市内外から多くの人々が訪れる、本市を代表する魅力的な公園です。自然と触れ合う憩いの場であると同時に、イベントや交流の場としても活用されており、地域のシンボルとして、本市に活力をもたらしています。また、令和元年（2019年）には、第70回全国植樹祭の会場となりました。



あいちグリーンフェス

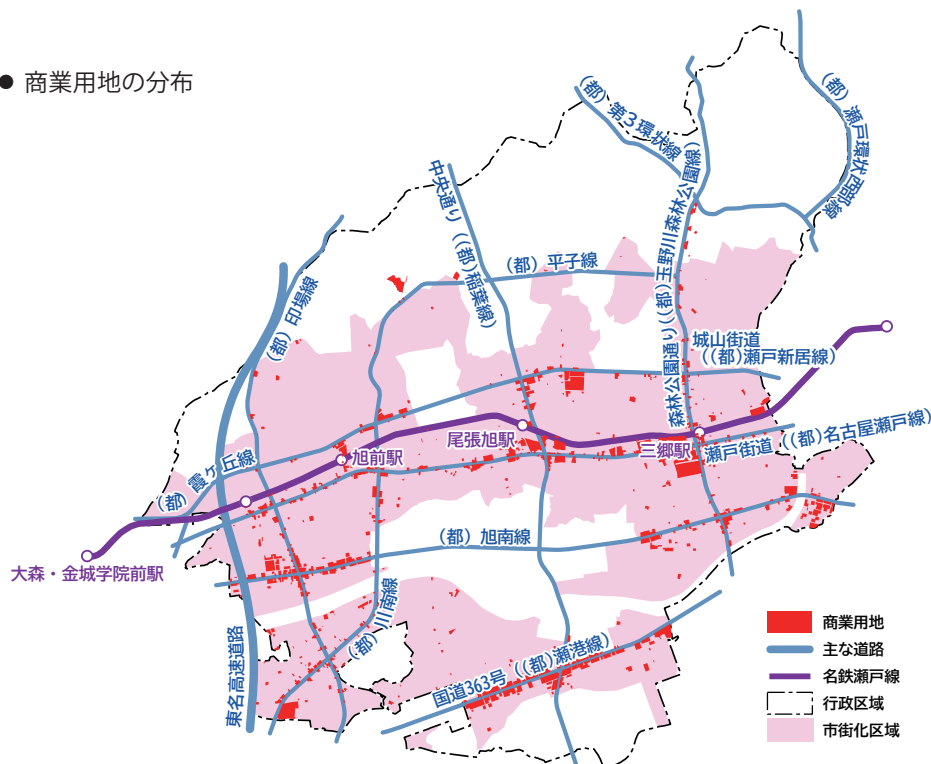


尾張旭市民ジョギング大会

#### 産業の集積により、にぎわい・活力を高めるまち

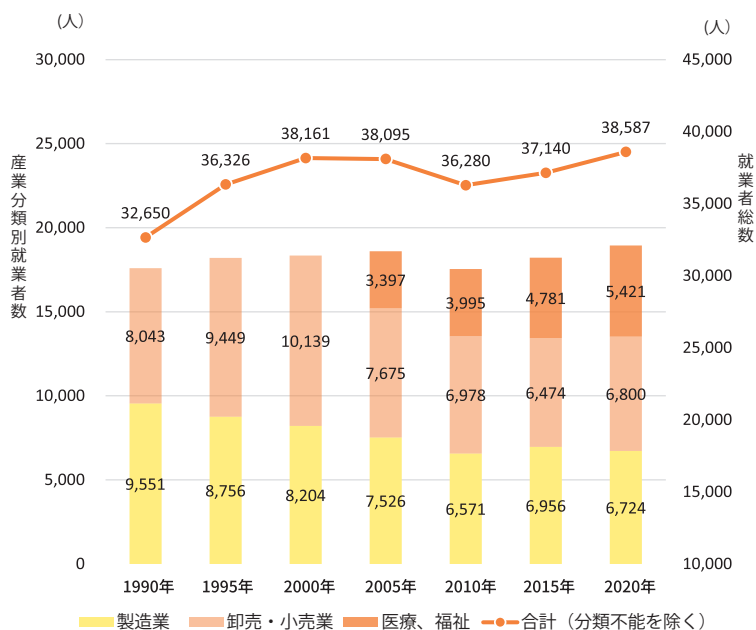
名鉄瀬戸線の各駅周辺や主要幹線道路の沿道には商業が集積し、本市のにぎわいや活力を生み出しています。また、就業者人口は少しずつ増加しており、まちの活力が高まっています。

- 商業用地の分布



資料：都市計画基礎調査

### ● 主要な産業大分類別就業者数の推移



資料：国勢調査

### 多様な主体が活躍するまち

市内では、市民や地域団体などが主体となって道路や公園、河川といった公共空間の美化や維持管理、地域の活性化などに取り組む、まちづくり活動が行われています。

こうした活動を通して多様な主体が活躍し、活動の輪が他の地域へと広がることで、まち全体の活力向上が期待されています。



三郷駅まち育てプロジェクト活動の様子



アダプトプログラム (道路等の美化・清掃活動) の様子



公園愛護会活動 (矢田川河川緑地) の様子

## 今後求められていること

「にぎわい・活力を高めるポテンシャルがあるまち」としての魅力をより高めるために、今後求められている取組は次のとおりです。

### オープンスペースを活用したにぎわいの創出

まちのさらなるにぎわいの創出や市民同士のつながりを深めるため、これまで以上に公園や駅前広場などのオープンスペースを活用し、イベントや地域交流を促進する必要があります。

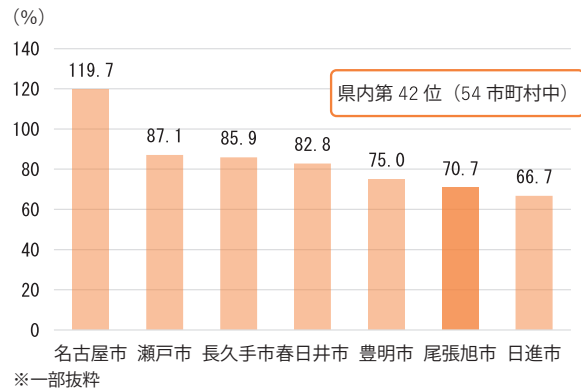


矢田川らくがきフェスティバル

### 商業機能の維持・強化

まちのさらなる活力の向上と市内における経済循環を促進するため、鉄道駅周辺や主要幹線道路沿道に立地する商業機能の維持強化が求められています。

#### ● 地域経済循環率の周辺都市比較



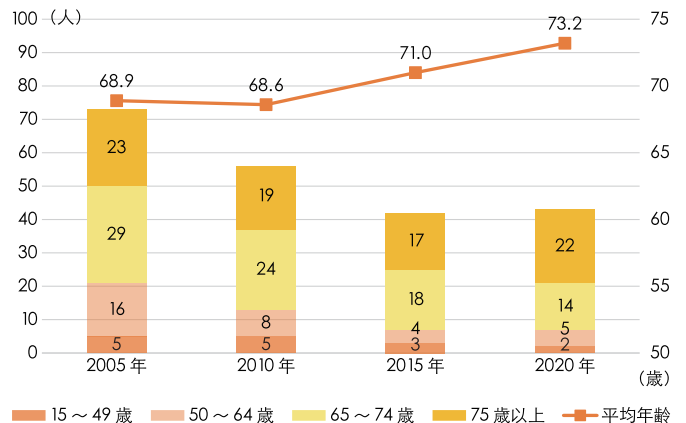
資料：尾張旭市産業振興基礎調査

### 地域農業者の支援

一団の農地における米の生産や、いちじくなどの特産品の生産は、まちの活力を高める役割も担っています。近年では、耕作放棄地の増加や担い手不足が不安視されていることから、持続可能な農業の実現のために、地域農業者の支援が求められています。



#### ● 農業従事者数と平均年齢

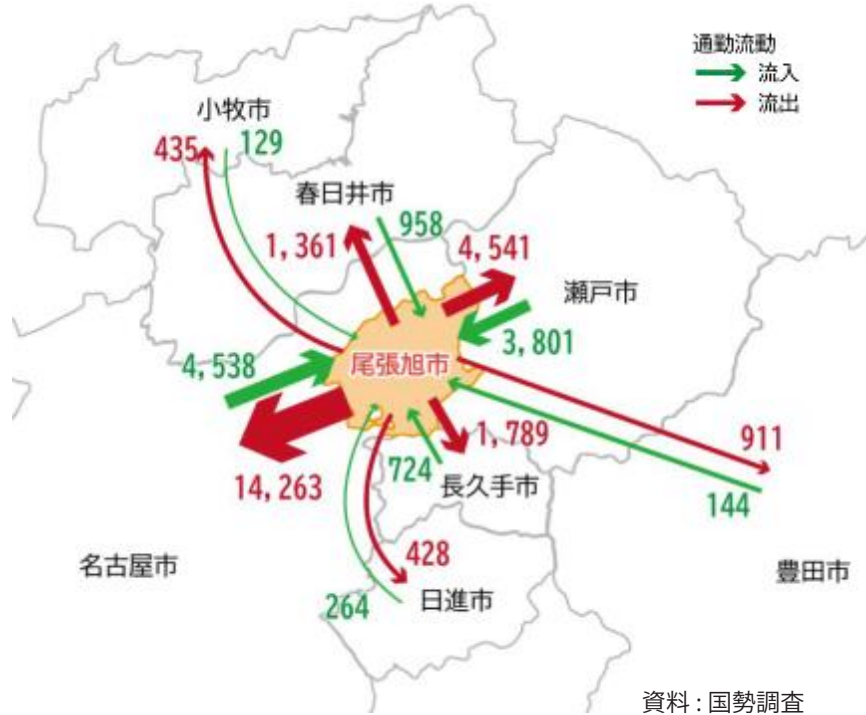


資料：農林業センサスから作成

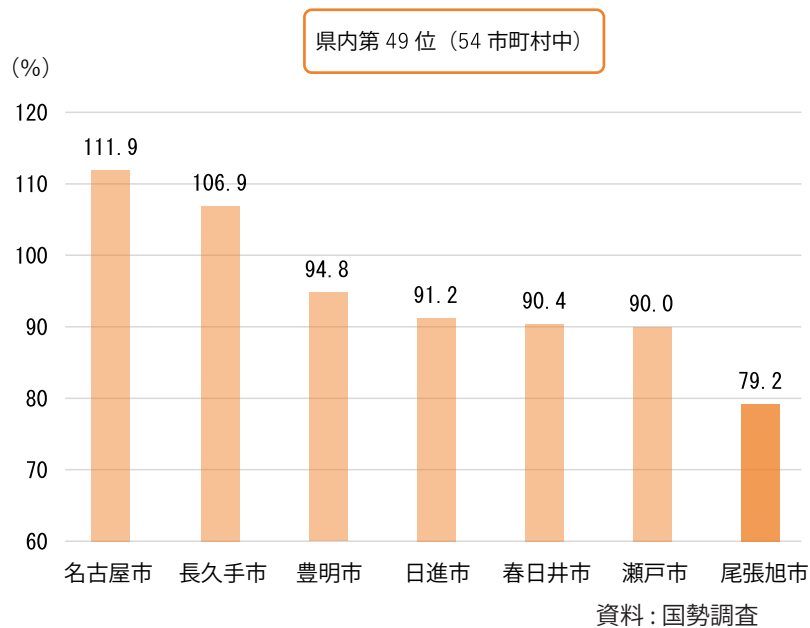
## 工業集積・企業進出の支援と働く場の創出

多くの市民は周辺市へ通勤しており、昼夜間人口比率は愛知県内の他自治体と比べて低くなっています。まちのさらなる活力の向上を図るためには、市内での働く場を確保していく必要があり、工業の集積や企業進出の支援が求められています。

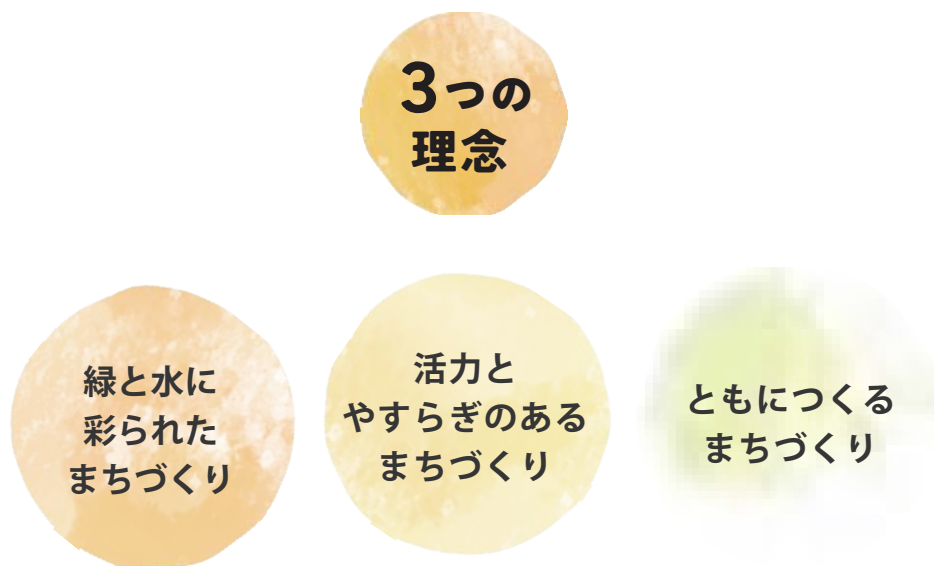
### ● 通勤の状況



### ● 昼夜間人口比率の周辺都市比較



## 第二次尾張旭市都市計画マスタープラン



前計画は「ともに育てる 笑顔とうるおい あふれるまち」を都市づくりのテーマとして掲げ、3つの理念に基づき、都市づくりを進めてきました。

前計画で定めた将来フレームや、都市づくりの方針の達成状況を整理します。

## 人口フレーム・土地利用フレーム

前計画では、令和7（2025）年の人口の目標値（人口フレーム）を、84,000人と定めており、令和2（2020）年の実績値（国勢調査）は83,144人となりました。これまで、市の人口はほぼ一貫して増加を続けていましたが、近年の増加率は鈍化傾向にあり、今後は減少に転じることが予測されています。

土地利用の目標値（土地利用フレーム）のうち、令和7（2025）年の住宅用地の規模に関する目標値（住宅用地フレーム）は、544haと定めており、令和5（2023）年の実績値（都市計画基礎調査）は543.4haとなりました。なお、前計画では、産業用地（工業用地・商業用地）の規模に関する目標値は定めていません。

表 フレームの達成状況

人口フレーム	基準値（2005年）	実績値（2020年）	目標値（2025年）
	78,394人	83,144人	84,000人
住宅用地フレーム	基準値（2006年）	実績値（2023年）	目標値（2025年）
	488ha	543.4ha	544ha

## 都市づくりの方針

前計画では、3つの理念に対して、全134項目の都市づくりの方針が掲げられていました。

都市づくりの方針の達成に向けて行われた様々な取組のうち、99項目（73.9%）については、十分な成果がありました。また、33項目（24.6%）については、現在も取組を実施中となっており、未着手の項目はありませんでした。

表 都市づくりの方針の達成状況

理念	方針の数	A	B	C	D
緑と水に彩られたまちづくり	33	27	6	0	0
	割合	82%	18%	0%	0%
活力とやすらぎのあるまちづくり	86	60	24	2	0
	割合	70%	28%	2%	0%
ともにつくるまちづくり	15	12	3	0	0
	割合	80%	20%	0%	0%
合計	134	99	33	2	0
	割合	73.9%	24.6%	1.5%	0%

A：取組を実施し十分な成果があった、B：取組を実施中、C：取組の実施を検討中、D：未着手

## 前計画期間中に実施された主な取組

前計画の3つの理念や都市づくりの方針のもとで実施された主な取組を整理します。

### 【緑と水に彩られたまちづくり】

- 地域農業の振興支援や耕作放棄地の解消による農地の保全
- 全国植樹祭の開催による緑への理解促進
- 濁池・大森池における遊歩道などの親水施設の整備
- 城山公園における新たな遊具広場(スカイパーク)の整備
- 公共下水道の整備促進・供用開始区域の拡大
- 矢田川・天神川における河川改修

### 【活力とやすらぎのあるまちづくり】

- 北原山土地区画整理事業の推進
- 三郷駅前地区市街地再開発事業の事業決定
- 旭前駅前広場の整備、旭前駅及び印場駅のバリアフリー化
- 都市計画道路霞ヶ丘線の整備開通
- 市営バスあさび一号の運行見直し・車いす対応車両の導入
- 橋梁の長寿命化修繕の実施
- ゾーン30やあんしん歩行エリア整備事業などによる交通安全対策

### 【ともにつくるまちづくり】

- 三郷駅周辺まちづくり協議会や再開発組合によるまちづくりの検討
- 三郷駅前まち育てプロジェクトによる市民主体のまちづくり
- 公園整備のための市民ワークショップの実施、公園愛護会による公園緑地の維持管理の実施
- アダプトプログラムによる公園緑地の維持管理の実施



(都) 霞ヶ丘線



スカイパーク

## 第三次都市計画マスタープランの策定に向けて

次期計画の策定に当たっては、前計画の検証により明らかになった以下の3つの課題を踏まえます。

○ 全国的な人口減少は、本市においても例外ではありません。次期計画の策定に当たっては、人口減少を前提としたまちづくりを進める必要があります。

○ 北原山土地区画整理事業の進捗により、住宅用地フレームの目標達成に近づきつつありますが、人口減少などの影響により、すでに整備された市街地では住宅用地の余剰が生じる可能性があります。

○ 「活力とやすらぎのあるまちづくり」の達成状況を踏まえ、今後は都市の活力の維持向上を図る必要があります。

本計画の策定に当たって、地域の魅力を高めるためのアイデアを出し合い「未来のまちの姿」を楽しく考える場として、市民ワークショップ「フューチャーデザインラボ（フデラボ）」を開催しました。

フデラボでは、参加した市民の皆さんが、未来のまちの姿について自由に語り合い、様々な意見や思いが交わされました。

## 中部地域の未来の姿のキーワード

- 地域交流が盛んなまち
- 尾張旭駅を中心としたにぎわいのあるまち
- 市の魅力を発信し続けるまち



## 西部地域の未来の姿のキーワード

- 全員が楽しいまち
- 助け合いのまち
- 駅から歩いて楽しめるまち
- 農業と商業が共存し続けるまち



## 東 部地域の未来の姿のキーワード

- 自然と共生できるまち
- 三郷駅を中心としたにぎわいのあるまち
- 散策路のあるまち

## 南 部地域の未来の姿のキーワード

- 活気のあるまち
- 多世代交流が盛んなまち
- 安全安心なまち

市民のアイデア

公園・緑地等

## 参加した市民の皆さんが描いた未来のまちの姿を整理しました

### 自然と調和するまち

森林公園や矢田川などの豊かな自然が守られ、緑や水辺が生活の中に溶け込んだ、穏やかで心やすらぐ環境であってほしい。誰もが自然の恵みを身近に感じながら暮らせるまちであってほしい。

### 多様な暮らし方を支えるまち

子育て世代、高齢者、障がい者などそれぞれが自分らしい暮らし方を選び、快適に過ごせるまちであってほしい。住環境が整い、誰もが自分の生活に満足できる住みやすいまちであってほしい。

### 日々の暮らしがもっと便利で快適なまち

通勤や通学、買い物などの日常の移動が便利でスムーズにできるまちであってほしい。こどもから高齢者まで安心して暮らせる快適な環境であってほしい。

### にぎわいと活気のあるまち

公園や駅前広場、商店などに人が集い、地域でのイベントや活動が盛んで、笑顔や活気があふれるまちであってほしい。多くの人を訪れたくなる魅力的な場がたくさんあるまちであってほしい。

### つながりを育むまち

地域での交流が自然と生まれ、多世代が互いに助け合いながら暮らす、つながりを感じられるまちであってほしい。住む人が安心感を持ち、誇りを感じられるまちであってほしい。

# 未来のまちのイメージカードを紹介します！



## 2章

### ▼ 尾張旭市の特徴